

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市市長野東計画 新築工事	階数	地上8F
建設地	大阪府吹田市市長野東2042	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	421 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,病院,集合住宅,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年2月15日
敷地面積	6,264 m ²	作成者	長谷工コーポレーション 高橋
建築面積	3,214 m ²	確認日	2019年2月15日
延床面積	13,662 m ²	確認者	長谷工コーポレーション 羽太



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (276 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 79% (218 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 79% (218 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 79% (218 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
熱環境	2.1
光・視環境	2.3
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.8
耐用性	3.0
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.6
効率的	2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

水資源	2.2
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.8
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境に配慮するとともに、建物形状や色彩が周辺環境と調和するように計画する。	その他 特になし
Q1 室内環境	室内環境向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用する。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を豊富に計画し、良好な住環境の形成に配慮する。
LR1 エネルギー	・日本住宅性能評価基準「5-1断熱性能等級」における等級4を取得予定。 ・有効な採光・通風の確保のために、各住戸(マンション棟)が外皮に二方向面するよう計画する。	LR3 敷地外環境 ・適切な駐車スペースを確保しています。 ・LCCO ₂ の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。
Q2 サービス性能	耐久性に優れた建物を計画する。	
LR2 資源・マテリアル	・躯体と仕上げ材が容易に分別可能なようにしている。 ・有害物を含まない建材を使用している。 ・適切な駐車スペースを確保しています。 ・LCCO ₂ の排出量を低くするよう努め、地球温暖化に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0157

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市長野東計画 新築工事					
	建設地	吹田市長野東2042					
	用途/区分	集合住宅 病院 飲食店 学校(小中高)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.8	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		